

教科名	国語科	週時間数	3時間	学年	3年
使用教科書 及び 副教材等	「国語3」(光村図書)、「中学書写一・二・三年」(光村図書)、学習漢字ノート3(浜島書店)、 国語の学習(明治図書)、つまずかない!文法の学習(新学社)				

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことば(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、言語に対する知識・技能)に関心を持ち、日常の言語活動に活かす能力を身につけることをねらいとしています。</li> <li>ことばで物事をとらえ、考え、そして表現する力を伸ばすことをねらいとしています。</li> <li>題材を通して、自分の内面を見つめ、社会生活を豊かにすることをねらいとしています。</li> </ul>				
目指す姿	支え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題に対して、これまでの学習を想起しながら身に付けた知識や経験をもとに、自分の考えをもったり、それを言葉を使って(言葉の意味、働きなどを考えて)伝えたりする姿。</li> <li>○グループ活動などを通じて、自分の考えを他者に伝えるとき、他者の考えを受け入れ、相違点や共通点について考えようとする姿。</li> </ul>			
	高め合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に向けて、自分の考えと他者の考えを比較したり推論したりする中で、新しい考えに気付くことができる姿。</li> <li>○話し合い活動などを通じて気付いたことをもとに、自分の考えを見直したり新しい考えをもったりすることができる(それを言葉を使って話したり書いたりすることができる)姿。</li> </ul>			
学習の進め方	<p>【学習への取り組む姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題に対して自発的に考えたり、ノートやプリントなどを工夫してまとめたりしながら、進んで授業に取り組ましよう。</li> <li>○話しことばや書きことばを理解し、場面に応じた使い方ができるようになるとともに、円滑な交流の仕方を身に付けましよう。</li> <li>○様々な体験、事実、意見を正しく伝えるために、豊富な語彙を身に付け、ことばで表現できる力を身に付けましよう。</li> </ul> <p>【家庭学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書を音読し、意味のわからないことばは辞書で調べ、用い方を知った上で短文を作るなど理解を深めましよう。</li> <li>○漢字は形、書き順、読み方、意味を覚え、正しく使えるようにましよう。</li> <li>○日ごろから読書に親しみ、知識を広げ、言葉の感性を磨きましよう。</li> </ul> <p>【端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○語句の意味や漢字、文法など、ミライシード(ドリルパーク)を使って繰り返し学習ましよう。</li> <li>○目的に応じて情報を調べたり収集したりしながら、自分の考えを整理ましよう。</li> </ul>				
定期テスト	出題方針	・観点別評価の「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」を中心に問題を作成し、出題します。			
	範囲 (予定)	1学期中間	「世界はうつくしいと」、「握手」、「学びて時に之を習ふ-「論語」から」、文法、漢字		
		1学期期末	「作られた「物語」を超えて」「俳句の可能性／俳句を味わう」、文法、漢字		
		2学期中間	「和語・漢語・外来語」、「実用的な文章を読む」、「故郷」、漢字		
		2学期期末	「慣用句・ことわざ・故事成語」、「和歌の世界/君待つと-万葉・古今・新古今」「おくのほそ道」、文法、漢字		
学年末	「初恋」、「それでも言葉を」、漢字				
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決への取り組み</li> <li>・グループでの取り組み発表時の様子や成果物</li> <li>・プリント等の記入状況</li> <li>・定期テスト、小テスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。</li> <li>・テストの「知識・技能」に関する問題を80%以上解答できている。</li> </ul>	
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決への取り組み</li> <li>・グループでの取り組み発表時の様子や成果物</li> <li>・プリント等の記入状況</li> <li>・定期テスト</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・テストの「思考・判断・表現」に関する問題を80%以上解答できている。</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・プリント等の記入状況</li> <li>・振り返り活動への取り組み(シートの記入状況など)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を通じて、積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。</li> </ul>		

## 年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	詩	「世界はフツフツと」「疾走」	6	語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む。
		小説	「握手」	8	場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立つ。
	5	漢文	「学びて時に之を習ふ-「論語」から」	6	文章を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ。
		論説	「作られた「物語」を超えて」	8	文章における具体と抽象の関係を捉え、文章の構成や論理の展開を評価する。
	7	俳句	「俳句の可能性」 「俳句を味わう」		語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む。2年時に学習した短歌との違いや俳句のもつ音の響き、日本語の美しさに気付くことができる。
言葉		「和語・漢語・外来語」	4	和語・漢語・外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	
		論説	「実用的な文章を読もう」 「報道文を比較して読もう」	8	種類の異なる文章を読むことで、それぞれの文が持つ特徴を捉え、それを自らの文章に活かす。
2	9	小説	「故郷」	#	場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てる。時代背景や国(文化)の違い理解しながら、厳しい社会の中でも希望をもつ人々の考えを理解する。その上で、人物の考え方や生き方について自分の考えをもつ。
	10	古文	「和歌の世界」万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 「君待つと-万葉・古今・新古今」	#	歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむ。語句や表現技法などに注意して読み、古人の心情をとらえる。
	11	古文	「夏草-「おくのほそ道」から」	8	語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読む。
		言葉	「貝舟可・こころ・吹雪成玉」	6	慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにする。
	12	詩	「初恋」	4	音読を大切に、ことばの意味を理解し、その効果をとらえる。さらに、日本語のもつ響きや美しさを感じ取る。
		評論	「それでも、言葉を」	4	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。
3	1	随筆	「温かいスープ」	3	文章に表現された国際性とは何かを読み取り、自分の生き方や社会とのかかわり方を考える。
		随筆	「アラスカとの出会い」	3	人生や出会いについて考え、自分の意見をもつ。
		詩	「初日」	2	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、人間、社会、自然などについて考える。
	2	随筆	「律儀な桜」	3	人と自然のかかわり方や関係性について考え、自分の意見をもつ。
	3	詩	「わたしを束ねないで」	2	詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考える。

↓ 82

↑ 23